

(個人)

(報告：田中)

笠ヶ岳 (2,897m) (北アルプス)

【日時】平成25年8月26日(月)～27日(月)(1泊2日)

【メンバー】P&L 田中正行
(計 1名)

【行動記録】

①新穂高P(4時51分)―笠新道登山口(6時9分)―杓子平(10時7分)―笠新道分岐(11時56分)―笠ヶ岳山荘(13時20分)(泊)

②笠ヶ岳山荘(5時35分)―笠ヶ岳山頂(5時52分―6時27分)―山荘(6

時47分)―笠新道分岐(7時54分)―杓子平(9時05分)―笠新道登山口(11時56分)―新穂高温泉(12時50分)(泊)

1日目 7時間19分 2日目 5時間34分 計 12時間53分

【装備・食料等】

【個人】ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、ツエルト、水、朝・昼食、行動食

【感想】

新穂高温泉に前泊し、200台収容のまだ夜の明けきらぬ登山者用無料駐車場に到着した時は、月曜日だというのにほぼ満車状態だった。ここから温泉街を抜けて、左俣谷沿いの林道を1時間かけて笠新道登山口に向かう。ここから急登が始まる。きついと言われている笠新道も、穂高連峰を眺めながら登っていくと思ったほどでもなかった。杓子平に着くと、右から弓折岳、抜戸岳、笠ヶ岳が正面に見える。広々としたお花畑のカールは気持よかったが、ここから笠ヶ岳の稜線に出るまでの上りは疲れている足に堪えた。稜線から山荘までの70分も長く感じられた。

朝の山荘はガスに覆われていた。天気予報は徐々によくなっていくというので、少し遅らせて山頂を目指した。徐々にガスが切れてくると青空が見え始めた。山頂でのブロックン現象にハイカー達は大喜び。雲が下に下りてくると槍、穂高が全容を現し、水晶岳、薬師岳、白山なども姿を見せ始めた。

